



蔵王産業株式会社

第63期 ZAOH LETTER

2018.4.1 ▶ 2019.3.31

環境を美しく健やかに
私たちは環境美化創造企業です

証券コード: 9986

私たち蔵王産業は、
クリーンな労働環境や生活環境づくりに積極的に関わり、
高品質な環境クリーニング機器を提案、提供する企業です。

● 売上高

6,949 百万円

前 期 比

3.5 %減



● 経常利益

1,123 百万円

前 期 比

6.1 %減



● 自己資本比率

86.7 %

前 期 比

1.0ポイント増



● 1株あたり純資産

1,882.94 円

前 期 比

55.63円増



● 配当金

61 円

前 期 比

—



● 配当性向

51.7 %

前 期 比

2.9ポイント増



機能性・安全性に
重視した新商品投入で
顧客ニーズに対応



代表取締役社長 北林 恵一



2019年3月の業績はいかがでしたか？



当期は企業収益の改善を背景として、主要顧客である製造業の設備投資が非常に活発であったため、様々な商品群で総じて販売が伸びました。当期に新商品として投入した搭乗式清掃・洗浄機は、当社の既存商品である手押し式や自走式のものに比べて、何倍もの清掃能力があります。したがって、清掃現場が広くなればなるほど、効率化や省力化という観点から、従来の手押し式から搭乗式への切替えが進んでいます。特に、製造業では、ISO9001やISO14001等、品質や環境、そして食品衛生等のマネジメントの重要性が年々増しており、そうした現場では私どもの提案した機器が広く受け入れられていくものと考えております。

一方、ビルメンテナンス業界も人手不足やそれに伴う人件費の高騰等で、機械化へ対応は避けられない状況にあります。東京オリンピックの開催を1年後に控え、ホテルや各種施設等の建物をはじめインフラも徐々に完成してきています。2019年後半頃にはこうした施設におけるビルメンテナンス業者が決定し始めることから、当社商品の需要も堅調に増えてくるものと予想しております。

反面、家庭用小型高圧洗浄機やスチーム機器

等のコンシューマー商品の販売は減少し、当期業績の減収の要因となりました。これは当該商品の需要が一巡したことに加え、類似商品の増加、また輸入先である中国メーカーの値上げもあり価格競争力を十分に発揮できなかったこと等が影響したものと考えております。現在、中国メーカーと協力し、価格や商品アイテムの見直し等を進めており、2019年後半には一定の成果が出てくるものと考えております。



当期業績を牽引した新商品について市場の評価はいかがでしたか？



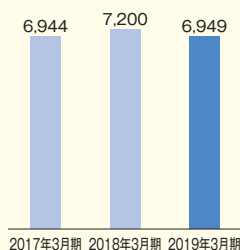
当社の商品が使用される現場では、商業施設、駅等の公共施設をはじめ、多くの人が行き来していますので、清掃中における安全性の確保は重要な課題のひとつといえます。こうした背景のなか、昨年4月に搭乗式床洗浄機の新商品として、後方視野を確認できる

バックモニターをはじめ、衝突防止センサー、自動ブレーキ機能等業界初の安全機構を採用した「スクラブメイトMMg730Plus」を発売しました。この商品は大規模テーマパークに納入されたことを皮切りに、自動車関連等多くの製造業現場で利用されています。また、5月には日本での公道使用に対応し、側溝の清掃状態が見やすい業界初の左ハンドル仕様の搭乗型大型清掃機「アルマジロAM9DⅢ-LH」を発売しました。大手のレンタル会社を中心に非常に高い評価をいただいております、販売台数を大きく伸ばすことができました。

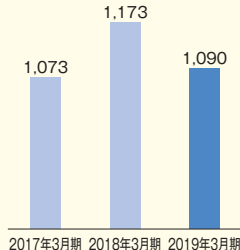
一方ここ数年の新商品の傾向としては、従来の清掃・洗浄機器にカテゴリーされない機器の投入が挙げられます。その代表的なものが、強アルカリイオン電解水生成機「ZKシリーズ」です。当初、ビルメンテナンス業界向けに提案し、発売以来10年間で2,500台以上を販売してきま

● 財務ハイライト(連結) (単位:百万円)

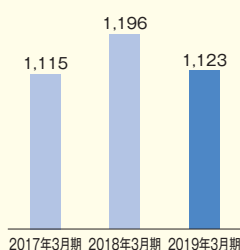
● 売上高



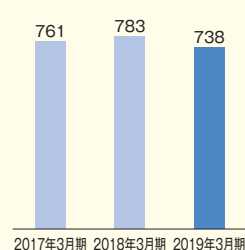
● 営業利益



● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益



した。そこに後継版として10時間連続生成が可能な「ZKリミテッド」を投入したことで、アルカリイオン水により洗剤を使わずに洗浄ができ、作業時間の短縮につながるだけでなく、安全性も高いということで、今では食品工場や金属工場等、製造現場でも需要を伸ばすことにつながっています。また、工場や駅構内等で夏場に使われるミスト機等とともに、このような機器は「環境機器」という位置づけとし、当社として今後も注力していきたい分野として考えております。



御社のビジネスモデルの特徴や強みをご説明いただけますか？



当社のビジネスモデルの特徴としては、農林水産業の第一次産業から、製造業の第二次産業、そしてビルメンテナンス業の第三次産業まで幅広いユーザーを持っていることが第一に挙げられます。こうした様々な業種・業界のユーザーニーズに合わせ、現在、約数百種の幅広い商品を取扱っているのもその特徴といえます。また、全国21ヵ所の営業所と各地域の販売代理店を通じて、年間約2万件もの実演による提案営業を行っています。当社はこの実演から得られる情報から日本の市場にマッチするものを海外の展示会等で探し、仮に商品として存在しない場合は海外、国内メーカーと

共同してユーザーニーズに合わせた新商品の開発を行っています。こうした情報収集力や開発力は、競合会社との大きな差別化となっております。

なお、私が社長就任以来取り組んでいるのが、全国の主要販売代理店との関係強化です。新商品が投入される前には、全国の営業員を本社に集め勉強会を実施していますが、地域の販売代理店に対してもユーザー向けの講習会を開催しております。その後、引き合いが入れば、営業員が販売代理店と一緒にユーザーの現場に商品を持ち込んで実演を行う等、常に情報の共有化を図っています。加えて私自らは年100件以上の販売代理店を訪問し、新商品案内も兼ね、信頼関係の構築に取り組んできました。これは今期以降も続けていく考えです。



成長のための営業及び商品戦略をどのように考えていますか？



当社の主要顧客は製造業とビルメンテナンス業となっていますが、製造業はさらに自動車から食品等数業種に細分化されています。したがって、新商品の開発を含め、それぞれの業種のニーズに特化し、きめ細かな営業活動を展開していきたいと考えています。例えば、前述した、「ZKシリーズ」は現在、食品工場等で需要が増えてきていますが、さらに

小型化を図ることで、ファーストフード、外食レストラン等にも提供していけるといったように、その可能性は広がっていきます。

当社は「メーカー機能を持った専門商社」とも言われています。全国に100名以上の営業員がおり、日々の営業日報を通して、常に新しいユーザーニーズが全国から挙がってきます。こうした情報は海外メーカーとも共有しており、単に商品の改良だけでなく、日本のニーズに合った付加価値の高い新商品の開発につながっています。

また、業務用清掃機器の市場では、徐々にロボット化の動きが出始めているますが、当社においても数年前から各メーカーと協議しており、実用化に向けた開発を進めてまいります。



株主還元を含め、株主の皆様へメッセージをお聞かせください。



2019年10月には消費税率の引上げが予定されており、駆け込み需要が見込まれています。今期におきましては、当期苦戦を強いられたコンシューマー向け商品に関して、商品アイテムの見直しを図ることで新たなニーズを反映した新商品等を投入し販売強化を図ることで、業績の回復を見込んでいます。さらに、子会社のエタニ産業では、プール向けの水質浄化剤等により販売は堅調に推移できるものと予



想しております。ただし、その一方で東京オリンピック後の2年先、3年先の将来には今からしっかりと備えていくことも重要な課題であると考えています。そのためには、新たな市場、新たなニーズに見合う商品開発等に引き続き注力してまいります。

また当社は株主様への利益還元を経営課題の一つととらえ、安定した配当を継続することを基本にしています。具体的には、従来より配当性向50%程度を目標に、将来の投資の内部留保を勘案し、利益の半分を株主様への還元にあてています。株主の皆様におかれましては、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

清掃機器部門

売上高

1,545 百万円

前期比14.6%増

主要
商品

動力清掃機、真空掃除機、
カーペット清掃機、泥層・
氷層除去機

当期は、日本専用モデルとして投入した左ハンドル仕様の搭乗式大型清掃機の販売が堅調に推移したこと等から増収となりました。

●搭乗式大型動力清掃機 「AM9D-Ⅲ LH」

日本専用モデルとして左走行に合わせて運転席、サイドブラシを左側に配置したことでサイドブラシの動きを直接確認しながら、作業することができ、安全性と効率性が高まり、レンタル業界を中心に好評を得ています。



●リチウムイオンバッテリー式スィーパー 「ツインフォース LS38Li」

ソフトとハード2種類のブラシが2,000rpmで高速回転することで粗ゴミから細かなホコリまで効率よく回収します。



洗浄機器部門

売上高

2,684 百万円

前期比18.2%減

主要
商品

自動床洗浄機、カーペット
洗浄機、カーペット濯ぎ洗
い機、高圧洗浄機、スチー
ム洗浄機、振動式洗浄機

当期は、コンシューマー向けのスチーム機器の販売が減少したこと等から、減収となりました。

●搭乗式自動床洗浄機 「スクラブメイトMMg 730 Plus」

バックモニターや後進時の衝突防止センサー、自動ブレーキ等を採用したほか、低床設計により運転席を低くしたこと、初心者や高齢者、女性でも安心して操作できます。



●超小型振動ポリッシャー 「ナノエッジⅡ」

軽量コンパクトでありながら、超高速回転により短時間で驚きの洗浄効果を発揮します。従来の床洗浄機やポリッシャーでは作業しにくい狭い場所での洗浄が可能となりました。



その他部門

売上高

2,719 百万円

前期比5.9%増

主要
商品

強アルカリイオン電解水生成機、部品及びメンテナンスサービス、清掃・洗浄機用消耗品及びアクセサリ、水質浄化剤、電磁サーバー、その他

当期は、子会社エタニ産業株式会社の売上が増収となったことや工賃・パーツ等の売上が堅調に推移したこと等から、増収となりました。

●強アルカリイオン電解水生成機 「ZKリミテッド」

好評を得ている強アルカリイオン水生成機「ZKシリーズ」のモデルチェンジ版。従来機と同様、pH13.1の濃縮イオンを生成できることに加えて、1回で最大で10時間の連続生成が可能となりました。ビルメンテナンス業者だけでなく、製造業等の分野での利用も年々広がっています。



●ブルー洗浄剤 「アクアビル」

陽イオン高分子凝集剤が水中の微粒子を凝集することで清掃フィルターにかかりやすい状態にし、水の透明度を高めます。



① 流動資産

主として受取手形及び売掛金が138百万円減少したものの、現金及び預金が325百万円、有価証券が100万円増加したこと等により前連結会計年度に比べて、4.1%増加し、8,509百万円になりました。

② 固定資産

主として建物及び構築物が62百万円減少したこと等により前連結会計年度に比べて、1.5%減少し、5,094百万円になりました。

③ 固定負債

主として役員退職慰労引当金が16百万円増加したこと等により前連結会計年度に比べて、2.5%増加し、953百万円になりました。

④ 純資産合計

主として利益剰余金が337百万円増加したこと等により前連結会計年度に比べて、3.0%増加し、11,795百万円になりました。

CHECK!

2019年3月期連結決算の詳細は
当社HP《IR情報》に掲載しています。

<https://www.zaohnet.co.jp/ir/>

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第63期 (2019年3月31日現在)	第62期 (2018年3月31日現在)
(資産の部)		
① 流動資産	8,509	8,177
現金及び預金	2,739	2,413
受取手形及び売掛金	1,754	1,892
有価証券	3,099	2,999
商品	887	851
その他	28	20
貸倒引当金	△0	△0
② 固定資産	5,094	5,174
有形固定資産	4,643	4,708
建物及び構築物	1,413	1,476
機械装置及び運搬具	9	8
土地	3,199	3,199
その他	20	23
無形固定資産	14	17
投資その他の資産	436	447
投資有価証券	128	128
繰延税金資産	240	256
その他	67	63
貸倒引当金	△0	△0
資産合計	13,604	13,352
(負債の部)		
流動負債	854	973
支払手形及び買掛金	215	237
未払金	107	137
未払法人税等	203	199
賞与引当金	103	104
商品保証引当金	7	7
その他	216	286
③ 固定負債	953	930
退職給付に係る負債	533	541
役員退職慰労引当金	156	139
再評価に係る繰延税金負債	172	172
その他	91	77
負債合計	1,808	1,904
(純資産の部)		
株主資本	13,966	13,629
資本金	2,077	2,077
資本剰余金	2,402	2,402
利益剰余金	9,488	9,150
自己株式	△1	△1
その他の包括利益累計額	△2,170	△2,181
繰延ヘッジ損益	3	△7
土地再評価差額金	△2,174	△2,174
④ 純資産合計	11,795	11,447
負債純資産合計	13,604	13,352

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第63期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)	第62期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)
売上高	6,949	7,200 ⑤
売上原価	3,318	3,456
売上総利益	3,631	3,744
販売費及び一般管理費	2,540	2,571
営業利益	1,090	1,173
営業外収益	33	25
営業外費用	0	2
経常利益	1,123	1,196
税金等調整前当期純利益	1,123	1,196
法人税、住民税及び事業税	373	381
法人税等調整額	10	31
当期純利益	738	783
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	738	783

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第63期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)	第62期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	845	822 ⑥
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18	△2 ⑦
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400	△348 ⑧
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	425	471
現金及び現金同等物の期首残高	5,413	4,942
現金及び現金同等物の期末残高	5,839	5,413

⑤ 売上高

主に日本専用モデルとして投入した左ハンドル仕様の搭乗式大型清掃機「アルマジロ」の販売が堅調に推移しましたが、コンシューマー向けのスチーム機器の販売が減少したこと等から、前年同期比3.5%減となりました。

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は845百万円（前年同期比22百万円増加）となりました。
収入の主な要因は、税金等調整前当期純利益が1,123百万円、売上債権の減少額が138百万円、減価償却費が81百万円であり、支出の主な要因は、その他の流動負債の減少額が50百万円、たな卸資産の増加額が36百万円あったこと等によるものであります。

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は18百万円（前年同期比15百万円増加）となりました。
収入の主な要因は、従業員に対する貸付の回収による収入が5百万円であり、支出の主な要因は、有形固定資産の取得による支出が12百万円、従業員に対する貸付による支出が10百万円あったこと等によるものであります。

⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は400百万円（前年同期比52百万円増加）となりました。
支出の主な要因は、配当金の支払額が400百万円あったこと等によるものであります。

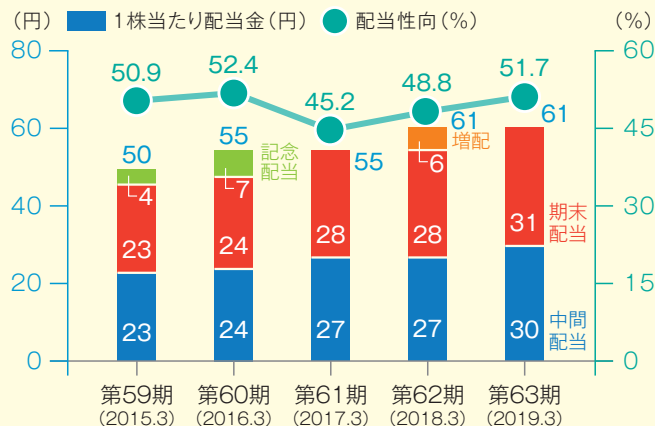
株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益配分と会社の体質強化のための内部留保との調和を図りながら、配当につきましては配当性向重視の方針を維持してまいります。

配当金額の決定につきましては、株主の皆様様に長期的な観点で当社株式を保有していただくため、当社グループの事業展開や財務状況のほか会計基準の変更等特殊要因による業績変動等を総合的に勘案し、今後、毎期の業績に応じて配当性向50%程度を目標としてまいります。

なお、当期の1株当たり期末配当金につきましては、当期の業績等を勘案し中間配当30円に期末配当31円を加え年間配当は61円といたしました。

1株当たり配当金と配当性向



● 会社の概況 (2019年6月26日現在)

社 名 蔵王産業株式会社
本 社 東京都江東区毛利一丁目19番5号
 TEL 03-5600-0311

資 本 金 20億7,776万円

役 員 代表取締役社長 北林恵一
 取締役副社長 沓澤孝則
 取 締 役 竹村 洋
 取 締 役 御幡純平
 取 締 役 村上正俊
 常 勤 監 査 役 田口 稔
 監 査 役 川添利賢
 監 査 役 宮崎雅俊

営業品目 動力清掃機、カーペット清掃機、泥層・氷層除去機、真空掃除機、自動床洗浄機、カーペット洗浄機、カーペット濯ぎ洗い機、高圧洗浄機、スチーム洗浄機、振動式洗浄機、部品及びメンテナンスサービス、清掃・洗浄機用消耗品及びアクセサリ、その他

営 業 所 札幌営業所 仙台営業所 宇都宮営業所
 水戸営業所 船橋営業所 川越営業所
 東京営業所 横浜営業所 長野営業所
 新潟営業所 静岡営業所 金沢営業所
 名古屋営業所 京都営業所 大阪営業所
 神戸営業所 岡山営業所 広島営業所
 高松営業所 福岡営業所 鹿児島営業所
 配送センター及び試験研究室

グループ会社 エタニ産業株式会社 東京都目黒区
<http://www.etanisan.co.jp>

● 株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 22,000,000株
 発行済株式総数 6,266,000株
 自己株式数 1,327株

● 株主の状況

総株主数 6,258名

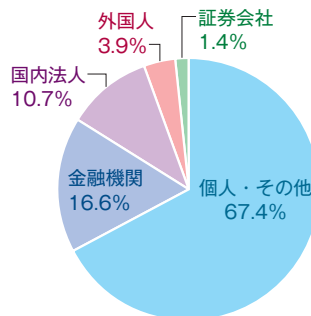
● 大株主の株式所有状況

(単位：株)		
	持株数	持株比率
佐々木 健二	538,530	8.60%
(株)三井住友銀行	276,000	4.41%
(株)千葉銀行	230,000	3.67%
学校法人麻生塾	230,000	3.67%
蔵王産業社員持株会	211,580	3.38%
東京美装興業(株)	158,400	2.53%
土方孝悦	154,900	2.47%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	134,300	2.14%
東京海上日動火災保険(株)	120,000	1.92%
照井雅夫	89,820	1.43%
合 計	2,143,530	34.22%

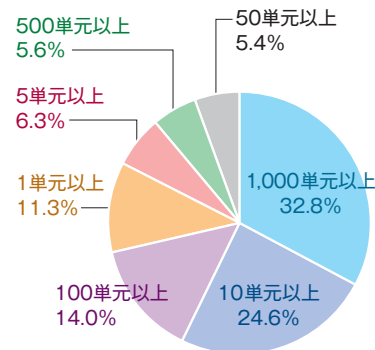
(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

● 株式分布状況

所有者別株式数構成比



所有株数別株主数構成比



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL：0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいておりますので、確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

● 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



蔵王産業株式会社

〒135-0001 東京都江東区毛利1-19-5 TEL:03-5600-0311 FAX:03-5600-0516